

様式 1 号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	塚田理研工業株式会社					
代表者名	氏名	下島 聡		役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	長野県駒ヶ根市赤穂 1 6 3 1 7 番地 5					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 4 金属製品製造業				
主たる事業の概要	プラスチックめっき、プリント基板上へのめっき					
制度に該当する要件	☒	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☐	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	4, 338	4, 207	4, 055		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	8, 851		8, 194		
調整後排出量	t-CO ₂	8, 851	8, 584	8, 194		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	24		24		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	256				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

☐	ホームページ	・ 場所：塚田理研工業本社工場 ・ 時間：平日 8:00～17:00 ・ 連絡先：0265-82-3256 ・ 担当部署：総務部
☒	印刷物の閲覧	
☐	その他	

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

・人類存続の基盤である地球環境と人にやさしい企業を目指し、すべての企業活動を通じて資源の有効活用と環境の保全に継続的に行動します。							
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等							
目標等の有無	無	目標年度		年度	削減目標		
削減計画の概要							
イニシアチブ 参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐	再エネ100宣言 RE Action	☐ その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

社長	
経営企画室長	
エネルギー企画推進者 (温暖化対策担当) (計画書提出担当)	
各部署	

5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

・省エネ対策会議（年6回）

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	256	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	照明設備	LED電灯への交換	2023～ 2025	45	2023	10
2	エネ起	ボイラ	スチームトラップ点検委託及び交換	2023～ 2024	45	2023	17
3	エネ起	コンプレッサ	圧縮空気漏れ点検委託及び漏れ修理	2023	15	2023	15.9
4	エネ起	空調機	スクラバー省エネVベルトへの交換	2023	40	2023	40
5	エネ起	一般管理事項	各生産設備などに対し休日運転について設定を見直し、順守	2023～ 2025	80	2023	40
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	493	0	493		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	8,851	1	8,194				
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	8,851	1	8,194				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	3	3		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	1	1		
その他 (ハイブリッド等)	0	0		
合計	4	4	0	0
自動車総数	24	24		
次世代自動車導入割合	16.7	16.7		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	単独（一人）長距離出張時
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	なし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	なし

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☒	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2020
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
☒	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	2006
☐	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
☐	ZEB	の認証を取得している	
☐	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
☐	その他		

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

・工場内での資源リサイクル（水、金属回収） →水洗水をイオン交換樹脂塔に通し、純水として再使用、イオン交換樹脂によって除去された金属は陰交換樹脂より分離後、沈殿させ、フィルタープレスにより圧縮脱水する。これを乾燥し、有価スラッジとして売却。 ・より濃度が薄いめっき水洗水を逆浸透膜（RO膜）により濃縮、RO膜透過水を水洗水として再利用。RO濃縮液は上の工程により処理し資源を回収している。
